

化学システム工学科

人材養成および教育研究上の目的

化学システム工学科は、化学技術者としての幅広い教養と健全な倫理観を身に付けるとともに、化学工学分野の知識を修得し、持続可能な社会の発展に貢献する人材を養成することを教育研究の理念とする。この理念に基づき、基礎及び専門知識を修得し、それを問題解決に応用する能力、技術者として社会に対する責任を自覚する能力及び社会の進展に伴って自己変革する能力を有し、国内外での化学技術・環境技術に関連する広い分野で活躍できる柔軟な思考力と総合力を兼ね備えたエンジニアを養成することを目的とする。

三つのポリシー

❖ アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

化学システム工学科は、人材養成・教育研究上の目的を理解する次のような学生を求めています。

1. 化学技術者（ケミカルエンジニア）、環境技術者を目指す人
2. 基礎化学、応用化学、化学工学などの専門分野に興味・関心を持っている人
3. 化学物質、機能材料、医薬、化粧品などに興味・関心を持っている人
4. 化学工場、化学装置、環境装置などの構造・仕組みに興味・関心を持っている人
5. 化学工業、食品工業、医薬品工業などの業界に興味・関心を持っている人

❖ カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

化学システム工学科では、1年次、2年次は工学の基礎、専門の基礎を学習するため全学生が同じカリキュラムで学びます。3年次では各自の学びたい分野に応じて「化学プロセス工学コース」と「化学システム工学コース」に分かれます。特に「化学プロセス工学コース」のカリキュラムは、化学技術を職業として活躍する人材が身につけておくべき世界的標準に合致する教育内容（JABEE 認定コース）となっています。一方、「化学システム工学コース」のカリキュラムは化学に関する広範な職業分野で活躍する人材が身につけるべき教育内容となっています。また4年次では選択したコースに捉われることなく、各自が学びたい研究室で卒業研究に取り組むことができます。

いずれのコースにおいても、化学技術が社会にもたらす恩恵と影響を評価する能力、地域の技術的諸問題を認識する能力、社会の進展にともなって自己変革を行う能力および技術者として健全な倫理観をもった人材を養成するようにカリキュラムを構成しています。





❖ ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

次に示す能力を備えていることを対応する各科目で厳格に確認した上で単位認定を行い、必要なすべての単位を取得した人に学位を授与します。

1. 自分の考えについて、論理的に記述・口頭発表・討議できるコミュニケーション能力
2. 技術者として健全な倫理観
3. 化学工学の専門分野を理解し応用できる能力

